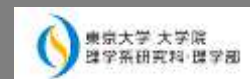


木曽シンポ2026

はじめに

小林尚人



木曽観測所とは？



◆東大が所有する国内唯一の天文台

◆全国のあらゆるタイプの教育を受入

◆長野県木曽郡
(木曽町、上松町、王滝村)

◆標高1130m (望遠鏡)

◆主力は1.05mシュミット望遠鏡

✓ 広視野： 掃天観測が得意

✓ 貴重： 大型は世界で数台

◆自然： 木曽・信州の美しい夜空

◆歴史： 中山道以来の交通の利便性

◆1974年開所：今年52周年



都市光をブロックするのに最適（暗い夜空）、北すぎない（雪少なく冬の天候が良い）



- ・この5年で周囲が相次ぎ国定公園化
- ・歴史的地域（中山道、木曾檜）

- ちなみに。。東京大学も中山道沿いにある



先端研究は常に人による開発を続けなければならない
→ プロの天文台でも交通の便が良いことは本質的
(山深いところであればいいわけではない)

★自然と歴史のバランスが天文サイトとして長続きする秘訣？

世界でフル稼働の大型汎用シュミット望遠鏡（3台）



パロマシュミット望遠鏡
1.22m
(アメリカ 1948-)
古典的掃天（歴史的存在）



UKシュミット望遠鏡
1.24m
(オーストラリア 1973-)
多数の天体の分光



木曽シュミット望遠鏡
1.05m
(日本 1974-)
精密な時間変化



次の10年へ 進行中

◆新職員

- ◆吉田英人さん（2026.4-）
前東大理技術長
はやぶさ2試料分析
衛星・地球接近小惑星観測ほか

◆ビッグデータ天文台化

- ◆SINET6：高速ネット
- ◆mdx：データ解析・サーバー

◆新しい方向も

- ◆太陽系への回帰も
掩蔽、小惑星、人工衛星等々
- ◆多様な教育も
大人から幼児教育まで！

2日間よろしくお願いいたします